

市民オンブズマン通信。

《すみよい まちづくりをめざして》

第1号

2006年11月1日

狭山に市民オンブズマンが誕生！！

この狭山での市民オンブズマン結成のきっかけは、平野氏が単独で市議会へ提出した「議員定数削減」の陳情書でした。当初は門前払いの様子でしたが、「定数削減を求める市民の会」の署名活動の話が出て、3月議会で削減案が採択され、6月議会で議員提案として、2名削減案が実現しました。これを契機にもう少し幅の広い活動を展開する機運が高まり「市民オンブズマン」が誕生しました。オンブズマンは行政の見張り番的な役割が主ですが、この団体はそれ以外にも、市民の声を市に伝えるなど、もう少し幅の広い活動を目指しています。

6月5日に市立公民館で設立総会が開催され、会則ならびに世話人の役割が決まりました。正会員の年会費は3千円、賛助会費は千円。代表世話人に小原一浩氏、副代表に加藤邦彦氏、事務局長に平野博義氏、会計に伊勢田徳生氏を決定。会を民主的に運営し、広く市民に設立趣旨を説明して、会員ならびに賛同者を募ることになりました。(会則並びに趣意書は裏面を参照ください)

市長、市議会議長に面談、趣旨説明

7月28日、市長室開放の日に、この団体の設立趣旨説明と今後の活動について、吉田市長に面談。併せて、来る統一地方選挙に関して、立候補予定者の考えや、マニフェストを確認するための政策討論会の開催することに対する協力方をお願いし、ご理解を得ました。引き続き、議会の富永議長に面談し、同じく趣旨説明や討論会への協力を要請し、ご理解を得ました。この会合を実施するにあたり、市内の他の団体にも広く協力を求める事になりました。

談合情報に対して、情報公開を要求！

毎日新聞に載ったニュータウン排水耐震補強工事の入札に関する「公正入札調査委員会」の議事録の公開を要求し、関連資料を入手しました。談合の事実は確認出来ませんが、今後も、この種の入札に注目して行く予定です。

ハイライト:

- 市民オンブズマン 大阪狭山結成
- 入札談合情報の真偽を確認
- 来年の統一地方選挙に関する政策討論会を開催予定
- 市内の各種団体に政策討論会への協力、協賛を依頼

市民オンブズマンの活動について

現在、各地で市民オンブズマンが結成されて、積極的に活動しています。去る9月にも全国大会が福岡で開催されました。

最近では、市民に対する情報公開がかなり進んできていますが、まだまだ充分とは云えません。自由主義、民主主義は大変素晴らしい制度ですが、この議会制民主主義をもっとよく理解して、明るい、すみよいまちにしたいものです。第2次大戦後、61年が経ちましたが、中央官庁、政界、地方自治体などでの身勝手なお手盛り処遇や税金の無駄遣いなどの違法行為があとを絶ちません。行政監視の方法としては、<情報公開請求><住民監査請求><住民訴訟>などがありますが、私たち、市民がもっと積極的に政治にも関心を持って、日頃から注視してゆくべきです。何よりもまして、最初に、主権在民として、選挙権を行使すべきです。この選挙の結果が現在や将来の日本の行き方を決めているのです。

☆大阪狭山をすみ良い町にするために有志を募集しています。ご理解とご協力をお願いします。☆

！政策討論会への協力、協賛団体を募集中！

<詳細は事務局までお願い>